

## 検索エキスパート研修[特許]

### <研修内容>

| 研修科目                                  | 時間  | 内容  | 備考  |
|---------------------------------------|-----|---|---|
| 検索インデックス                              | 3   | 国際特許分類（IPC）、FI及びFタームに代表される検索インデックスについて、先行技術調査の精度向上に必要な情報とともに解説する。   | 教材： <a href="#">「国際特許分類、FI、Fタームの概要とそれらを用いた先行技術調査」</a> |
| 調査実務1                                 | 6   | 発明の認定、引例の認定、対比・判断等の手法を審査基準に準拠して解説するとともに、進歩性等の特許要件を考慮しつつ先行技術調査を行う手法について、特許審査官の有するノウハウを織り交ぜつつ解説する。            | 教材： <a href="#">「先行技術文献調査実務〔第五版〕」</a>                 |
| 引例選択演習<br>※分野別に実施                     | 4.5 | 先行技術調査対象と仮定された特許出願について、進歩性等の特許要件の判断に必要な文献を、複数の引例候補文献の中から選択する演習。   | 班別討論形式  |
| 検索端末操作実習<br>※分野別に実施                   | 3   | 本研修において利用する検索端末を実際に操作しながら、その操作方法について講師との対話形式で説明する。  |   |
| 調査実習                                  | 6   | 与えられた課題に対して研修生自らが先行技術調査を行い、講義及び演習を通じて習得した知識及び技能を、随時指導者への質問ができる環境下で実践する。                                     |   |
| 調査結果討論<br>（演習）／<br>調査実務2<br>（フォローアップ） | 4.5 | 調査結果討論（演習）では、先行技術調査の結果について、研修生同士で討論し、調査報告書を作成する。<br>調査実務2（フォローアップ）では、作成した調査報告書を基礎として、先行技術調査を行う手法について補充説明する。 | 班別討論形式  |